

亜くろいし 市議会だより

第7号

平成 26 年
12月1日発行

10月定例会

目次

| | |
|------------|-----|
| 議会の概要 | 2 |
| 議案一覧 | 3 |
| 市政に対する一般質問 | 4～6 |
| 活動報告 | 7 |
| 議会トピックス | 8 |



市制施行当時の黒石市中心部(中央右にある大きな建物が当時の市庁舎)



総務大臣 感謝状授与

平成26年10月17日に挙行された「平成26年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」において、村上隆昭議員が地方自治の発展に尽くされた功勞により総務大臣から感謝状を授与されました。

議会からのお知らせ

第6回 黒石市議会 「議会報告会」開催

日時:平成26年12月19日(金)
午後6時

場所:スポカルイン黒石 2階
大会議室

内容:議会報告
(8月議会・10月議会
12月議会)
・平成25年度決算(一般会計・特別会計)の報告
・その他

平成26年第3回定例会の概要

平成 26 年第 3 回定例会は、10 月 3 日から 10 月 28 日までの 26 日間にわたって開かれ、市長提出の 4 報告・35 議案、議員提出の 1 議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・認定・可決いたしました。

また 10 月 3 日に全議員で構成される決算特別委員会が設置され、委員長に大溝雅昭委員、副委員長に黒石ナナ子委員を選任し、平成 25 年度一般会計、各特別会計、各財産区会計決算の審査を行いました。各議案の議決結果と各会派の賛否は次ページをご覧ください。

平成 25 年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定 討論

反対討論

- 反対の 1 つは指定管理業者について、(株)ツガルサイコーに対する監査委員による 7 点の指摘事項の改善と適切な指導が不十分であり、他の指定管理業者の状況も適時行うべきが、なされていない。
- 市民の願いに十分応えていないものとして、
 - 1、雪対策は市民の安全、安心に到達していない。
 - 2、生活保護行政では、職務怠慢で市民に被害を与えたことの改善処理が不十分である。
 - 3、市民生活がひっ迫し、税、使用料の滞納が増えている中、中小業者の仕事を増やし、経済が回っていく市独自の住宅リフォーム制度の創設が急がれるが、不十分である。

以上の理由から決算に反対するものであります。

賛成討論

- 平成 25 年度は、市税収入の増もあり、実質収支額は 6 億 5,159 万 1 千円の黒字であり、財政調整基金の取崩し 2 億 5 千万円を差し引いても黒字であることは、節度ある執行の結果である。
- 市の大きな課題である財政健全化についても、土地開発公社の清算に取り組むなど、計画を上回る進展を見せ、大いに評価に値する。
- 厳しい財政状況ながらも実施した社会福祉センターの移転は、福祉施策の充実に大いに貢献するものであり、各施策についても限られた財源で効果的かつ効率的に展開していると認められる。

以上のことから決算認定に賛成します。

この他にも「平成 25 年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」及び「平成 25 年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」においても、反対・賛成討論がありました。


第3回定例会の報告と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

| 番 号 | 件 名 | 会 派 名 | 自民・公明 ク ラ ブ | 黒石市民 ク ラ ブ | 日 共 産 党 | 本 党 | 議 決 結 果 |
|----------|---|-------|----------------|---------------|---------|-----|---------|
| 報告第 26 号 | 平成 26 年度黒石市一般会計補正予算 (第 6 号について) | | ○ | ○ | ○ | | 承認 |
| 報告第 27 号 | 平成 25 年度における黒石市温泉供給事業特別会計 経営健全化計画の実施状況について | | ○ | ○ | ○ | | 報告 |
| 報告第 28 号 | 黒石市財政の平成 25 年度決算に基づく健全化判断 比率について | | ○ | ○ | ○ | | 報告 |
| 報告第 29 号 | 黒石市公営企業の平成 25 年度決算に基づく資 金不足比率について | | ○ | ○ | ○ | | 報告 |

第 3 回定例会の議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

| 番 号 | 件 名 | 会 派 名 | 自民・公明 ク ラ ブ | 黒石市民 ク ラ ブ | 日 共 産 党 | 議 決 結 果 |
|------------------------------|---|-------|----------------|---------------|---------|----------------|
| 議案第 100 号 | 平成 25 年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ● | 認 定 (起立多数) |
| 議案第 101 号 | 平成 25 年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ● | 認 定 (起立多数) |
| 議案第 102 号 | 平成 25 年度黒石市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 議案第 103 号 | 平成 25 年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 議案第 104 号 | 平成 25 年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ● | 認 定 (起立多数) |
| 議案第 105 号 から 議案第 109 号 | 平成 25 年度黒石市観光施設事業特別会計、簡易水道特別会計、温泉供給事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、土地取得特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 議案第 110 号 から 議案第 114 号 | 平成 25 年度黒石市中川財産区、上十川財産区、追子野木財産区、温湯財産区、袋財産区会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 議案第 115 号 | 黒石市姉妹都市等交流基金条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 116 号 から 議案第 118 号 | 黒石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について | | ○ | ○ | ● | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第 119 号 | 黒石市地酒による乾杯を推奨する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 120 号 | 黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 121 号 | 黒石市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 122 号 | 黒石市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 123 号 | 財産の取得について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 124 号 | 工事請負変更契約の締結について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 125 号 | 平成 26 年度黒石市一般会計補正予算(第 7 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 126 号 | 平成 26 年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 127 号 | 平成 26 年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 128 号 | 平成 26 年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 129 号 | 平成 26 年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 130 号 | 平成 26 年度黒石市簡易水道特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 131 号 | 平成 26 年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算(第 2 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 132 号 | 平成 26 年度黒石市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 133 号 | 平成 26 年度黒石市水道事業会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 134 号 | 平成 26 年度黒石市下水道事業会計補正予算(第 1 号) | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議員提出議案 第 6 号 | ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

第3回定例会一般質問



自民・公明クラブ
くろいし ななこ
黒石 ナナ子 議員
(一括方式)

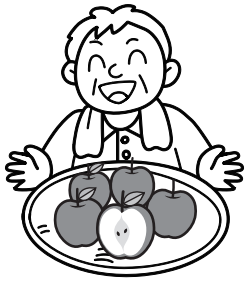
問 黒石市の里山観光振興について、豪華客船ツアー客の受け入れはできないか。中野もみじ山、黒森山を市の遺産に登録してはどうか。

答 オプショナルツアーに組み込んでもらわなければなりません。津軽圏域で情報を提供するとともに、県に相談し、体制づくりを検討します。近隣市町村で連携し英語、韓国語、中国語の広域観光パンフレットを発行しています。

黒森山、中野もみじ山には文化財などが多くありますが、他に貴重な物件などがあれば諮問したいと思えます。

問 黒石は全国でも珍しいりんご研究機関、農業機関を有しており、献上りんごの里でもあり、りんごの歴史は日本一である。青森りんごの世界農業遺産の呼びかけへの協力は。

答 会長である五所川原農林高校長から参加協力要請があり、賛同を伝えていますが、市民への呼びかけはしていません。啓蒙を図り、青森りんご生産地域全体の取り組み、全県的な動きで展開すべきものだと考えています。




自民・公明クラブ
くろいし ななこ
工藤 俊広 議員
(一問一答方式)

問 りんごで世界農業遺産を目指す当市の考えと取り組みについて。

答 世界農業遺産を目指す取り組みに対して賛同を示したいと思えます。国、県の動向を踏まえ世界農業遺産とは何かを市民と共有していくために努力したいと考えています。


問 音楽で地域の活性化を図る取り組みと若者の支援策について。

答 音楽での地域活性化を早い機会に研究し、音楽イベントを検討します。若者の定住策は市の重要課題と捉え総合的な施策を講じていきたいと思えます。



問 ピロリ菌の認識と今後の取り組みについて。

答 胃潰瘍、十二指腸潰瘍患者さんの約8割にピロリ菌が存在し、胃がん等の発症にもかかわっていると考えられています。今後は、ピロリ菌の検診及び除菌の内容等について周知してまいります。ピロリ菌検査の助成については、予算の優先度を見極め慎重に検討していきます。



自民・公明クラブ
なかた ひろみ
中田 博文 議員
(一問一答方式)

問 ふるさと納税における当市の現状と特典について。1円でも10円でも税収を挙げる手段として特典を取り入れてはどうか。

答 平成25年度の当市への寄附金は、85万円でした。特典付与については、寄附金の多寡によって差をつけることの妥当性、費用対効果など考慮すべき事項があることから、今後、慎重に検討していきます。

問 公用車の運用について。市民の要望する市民バスの導入の実現は。

答 市が貸し出しのバスを所有するのがいいのか。費用対効果・運営方法も含め、多様な面で検討しています。

問 少子化対策における担当窓口の新設について。40年後には市の人口は約2万人に減少するが対策は。

答 少子化問題に限らず、複数の分野にまたがる行政課題に対応するため、各分野を横断して、総合的に政策立案する新部署の設置を考えています。



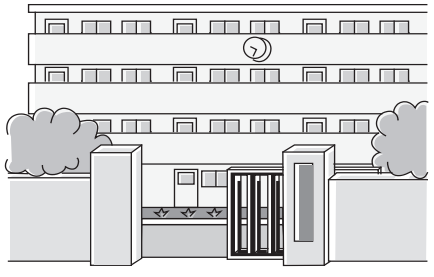
自民・公明クラブ
 工藤 和行 議員
くさう かつゆき
 (一問一答方式)

問 方針の一部見直し案（主に小学校の統合時期）について市報にも掲載されたが、今後説明なり意見聴取において、地域からの要望があれば枠組みについても変更が有り得るか。

答 適正配置の意義・目的という総論では理解されていると思っており、現在示している枠組みでの統合を進める考えです。

問 統合及び給食の実施時期が延びており財政的理由があると思うが、新築予定の統合校、スクールバス等の環境整備、給食実施を含めた財政計画はごつなごつなあるか。

答 方針では、統合校は平成32年度をめどに開校、給食提供はそれ以降の実施に変更となりましたが、事業費が非常に大きく、重要な課題であるので、実施内容の具体化を進めながら、市全体の事業の中でどう組み込むか、財政状況をどう好転させるかと合わせて検討、計画が必要です。財政は厳しい状況が続くと判断していますが、実現のために知恵を絞り、財政環境を整えていきたいと考えています。




自民・公明クラブ
 北山 一衛 議員
きたやま かずえ
 (一問一答方式)

問 本年度産米の米価の動向と、今後の市の対応は。

答 農水省8月末の試算で、米60kg当り11,830円を見込んでいます。ナラシ対策加入者には2051円、未加入者には768円補填される予定で、来年6月ごろ実施されます。県、市長会、農業者団体と連携し、金融対策も含めできるものから取り組みたいと思います。

問 旧松の湯建設事業の事業費が増額になった経緯、落成までのタイムスケジュールと事業費、国の補助率は。

答 労務費等上昇に加え、土蔵壁崩落で当初の補修から建設することになったため、オープン時期は工事の進捗状況をみながら検討したいと思えます。事業費は、3億4496万8千円を見込み、内、1億1698万4千円が補助される予定です。

問 市役所本庁舎の耐震診断の予定は、診断結果から危険と判断された場合の対応は。

答 市有建築物耐震化計画では28年度実施予定であり、小学校、公民館等を優先してきました。早期実施には財政的な問題も含まれます。診断後の対策として、国から平成28年度末まで求められている公共施設等総合管理計画で協議していきたいと考えています。



自民・公明クラブ
 今井 敬 議員
いまい たかし
 (一問一答方式)

問 市長のトップセールスについての考え方と思いは。

答 これまで大手量販店中心でしたが、商店街に売り込めないか調査したいと思えます。台湾へも県と連携し新たな施策を展開したいと思えます。知名度評価向上を目指し、継続している立川市の羽衣ネプタ祭り、品川区の中延ネプタ祭りなど東京圏はもちろん中部地方以西、関西九州方面を含めてさまざまな機会を捉え積極的に宣伝と売り込みに努めたいと思えます。足を運び情報交換を通し環境づくりを進めたいと考えています。

問 「がんばる地域交付金」の用途を示せ。

答 沖揚平分校解体や黒石消防署の設備改修、青山・追子野木地区の側溝整備への活用を考えています。

問 「子供の貧困」の実態と特別養護老人ホームの待機状況と対応は。地域密着型特別養護老人ホームの建設は考えられないか。

答 18歳以下の子供がいる生活保護世帯は18世帯で28人です。また、在宅で要介護3以上の実質的な待機者は28人で地域密着型特養ホームの建設は考えていません。



黒石市民クラブ
福士 幸雄 議員
(一括方式)

問 優良企業の誘致に対する市の考えは。

答 県企業誘致推進協議会や弘前圏域定住自立圏構想の産業振興分野において、情報発信や誘致活動を行っています。また、近年は既存企業の留置が最重要であると考え、企業が活動しやすい環境整備に努めています。

問 消防団員が全国的に人員不足となっている今、団員確保のため報酬の引上げや定年の引上げ、女性消防団員の入団促進を行う考えはないか。

答 消防団員の処遇については、団員の意向を踏まえ改善していかねばならないと考えています。また、女性消防団員の入団促進を進めています。

問 中心市街地活性化計画の見直しについて市の考えは。

答 平成10年策定の中心市街地活性化基本計画は実施可能な施策のみ行っており、新たな計画の策定には至っていません。商店街の活性化については黒石市第5次総合計画に基本計画を示しており、新たな施策や事業はこの計画策定の中で検討し、活性化に向けて取り組んでまいります。



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(一問一答方式)

問 空き家対策について、国の動向と、市の現状と今後の対策は。

答 空き家対策特別措置法案が臨時国会で審議される予定です。国の動向を見ながら、条例制定に向けての調査を速やかに進めます。

問 人口減少が地方ほど深刻な問題となっている。市独自の人口減少対策プランを作るのか。どのような施策を考えているか。

答 国、県の対策を踏まえながら第5次総合計画の後期基本計画に盛り込み、積極的に取り組みます。これまでの取り組みを継続・拡充し、今年度は乳幼児医療費等の現物支給などを始めました。

問 いじめと不登校の現状と取り組みは。

答 本年度のいじめ認知件数は7月末時点で小学校4件、中学校2件の計6件です。昨年度は13件、一昨年度は22件ありました。不登校は小中学校合わせて7人。昨年度は19人、一昨年度は23人ありました。いじめ、不登校とも減少傾向にあり、学校では教職員の迅速で丁寧な対応とアンケートによる早期発見などの対策をしています。



日本共産党
工藤 禎子 議員
(一問一答方式)

問 空き店舗等の活用を推進するためにプロジェクトチームを創設し、専門的な知識をもち、問題解決の提案を積極的に行える民間メンバーを入れてはどうか。

答 「まちなか活性化庁内検討会議」を立ち上げ取り組んでいます。また、商工会議所内に検討会議設置の動きがあるので、市もかわっていきたく考えています。

問 小・中学校適正配置と小・中一貫、小・中連携教育との整合性は。

答 小・中一貫、連携教育にはさまざまな形態があります。市教委では、同一学区での小・中学校の連携教育実現を考えており、整合性は図られています。

問 黒石小・中郷小・北陽小の統合校移転新築場所は、保護者から理解が得られるのか。

答 地域によっては、スクールバスを運行する予定です。今後、説明会で地域や保護者の理解を得られるよう努めます。

問 学校給食は、小・中学校の適正配置とは別問題として、一年でも早く進めるべきでは。

答 弘前市から給食提供を受けることで協議中ですが、統合が確定しない状況では給食供給を進められず、現状としては学校適正配置と給食が切り離せない状況となっています。

黒石市議会主催の黒石市・永川市姉妹都市議会夕食会の開催

平成 26 年 10 月 29 日から姉妹都市永川市よりキム・ジョンズ副市長、グォン・ホラク議長をはじめとする 10 名の皆さんが黒石市を訪問しました。30 日には黒石市・永川市姉妹都市締結 30 周年記念祝賀会が行われ、翌 31 日には黒石市議会主催の黒石市・永川市姉妹都市議会夕食会を行いました。

両市の議長のあいさつに続いてキム・ジョンズ副市長の乾杯、高樋市長のスピーチと続きました。参加者全員のテーブルスピーチは日本語、韓国語が入り混じりながらも盛り上がりました。姉妹都市交流はお互いをよく知り、理解しあうことが大切です。

黒石市・永川市の姉妹都市の絆はより深まりました。交流が長く続き、より両市のためになるよう発展して行くことを期待します。



【「市町村設置型浄化槽整備事業」について】

十和田市では、公共下水道で整備されていない未整備区域を、市町村設置型浄化槽整備事業に変更し、平成 42 年度までに市内全域の整備を終える計画としています。

同市は、市町村設置型浄化槽整備事業の具体的な実施方法を検討した時に、設計計画や維持管理の資格を有する職員がなく、事業執行の職員配置が期待できないことから民間の力を活用した P F I 事業で行われています。



本市とは財政状況や地形など様々な条件が異なりますが、本市においても公共下水道の計画の見直しを考え、100%水洗化に向け合併浄化槽の促進を考えて行かなければいけないと感じました。

【「現代美術館運営」について】

十和田市では、平成 20 年に現代美術館が開園され、人口約 6 万 6 千人の十和田市において、開館後わずか 4 日で入館者 1 万人を突破し、平成 21 年 9 月には累計 30 万人の入館者数を突破し、これを機に商店街（商店外装等）や空地などを利用し、街全体を美術館として空き店舗などを利用して活気を取り戻しつつありました。

本市の中心商店街活性化の参考になるのではと感じました。

県市議会議員研修会

平成 26 年度青森県市議会議員研修会が、平成 26 年 10 月 8 日（水）午後 2 時から津軽伝承工芸館において、青森県 10 市からの議員約 200 名の参加で行われました。青森県市議会議長会会長である田名部和義八戸市議会議長のあいさつに始まり、高樋憲黒石市長より心から歓迎のあいさつがありました。

講演会はそれぞれの行政において現在最も力が注がれている 6 次産業を題材に、「地域の 6 次産業化へ向けて、地域の雇用を創造するために」の演題で行われました。講師は大手食品会社で商品開発に携わり、県内では深浦町の「ふかうら雪人参」生産者と菓子・総菜メーカーとの連携を構築した実績がある(株)キースタッフ代表取締役鳥巢研二氏でした。地域活性化のために勉強になる講演でした。



講演後、2 班に分かれて中野もみじ山と黒森山を視察。再び津軽伝承工芸館にて講師を囲んで意見交換会が行われ、青森県無形民俗文化財の上十川獅子踊り等を鑑賞しました。

●議員活動報告

黒石市民クラブ

佐々木 隆・山田 鉦一
工藤 和子・福土 幸雄
後藤 秀憲

視 察 先

十和田市
(10 月 15、16 日)

「議会基本条例について③」

今回は条例の第7条から11条までの内容を説明します。

- 第7条 議会と市長等との関係において、二元代表制のもとで市長等と常に緊張ある関係を保ちながら議会に付与された権限を行使し、政策立案を通じて市政発展に取り組むこと、党派による代表者質問ができること、質疑応答において一問一答方式を選択できること、質問の質の向上と論点の明確化を図る観点から市長等が反問することができることを定めています。
- 第8条 政策等の形成過程の説明について定め、市長等が重要な政策を提案する際は、政策の公正性・透明性の確保と議会審議での論点の明確化と議論の水準を高めるために、政策の発生源、経緯等各号に定める項目の説明を求めることとしています。また、立案、執行における論点を明らかにするとともに、執行後における政策評価の審議に努めることとしています。
- 第9条 予算及び決算の政策説明について定め、議案が市長等から提出される際は、法令の定める説明書類の他、市民にもわかりやすい施策別又は事業別の説明を求めることとしています。
- 第10条 自由討議について定め、議会では議員相互の自由討議を中心に運営されること、議案等に関して結論を出すときは、議員相互間の議論を尽くして合意形成に努めることとしています。
- 第11条 議員全員協議会について定め、議会活動及び市政の重要案件に関する協議又は調整を行うために議長が招集し、議員全員による協議の場を設けることができることを定めています。

黒石市議会議員全員協議会

平成26年9月12日(金)午前10時から、市議会議場において議員全員協議会が行われました。

案件：黒石市立小・中学校適正配置について
：黒石市立黒石幼稚園について

黒石市教育委員会より説明があり、議員からは学校給食の問題、学校再編の組み替えなどの意見が出されました。



市功労者表彰授与

平成26年11月3日(月)にグリーンパレス松安閣で行われた黒石市表彰式で、市議会振興に貢献した栄誉をたたえられ、工藤賢治元市議会議員が授与されました。

工藤賢治氏は平成7年から23年までの16年にわたって市議会議員を務め、11年5月から13年12月まで市議会副議長、以後15年4月までは同議長を務められました。

編集後記

黒石市は、今年60歳還暦です。鳴海前市長から高橋新市長にバトンタッチの画期的・意義のある年でもあります。平成26年第3回(10月)定例議会は、一問一答方式が導入され2回目になりました。議員16名中9名の一般質問があり7名の議員が一問一答を取り入れていました。議会の内容もさらに充実していく努力をしています。市民の方々には、もっともっと関心をもっていただき、私たちの議会に苦言・進言を寄せていただきたいと思います。地方の経済の疲弊・景気の低迷が進む今日、まことに活気を取り戻す施策等を提案していきたいと考えています。近年、議会の傍聴者も少なくなっています。市民の方々には、私達議員・議会をチエックする監視という立場で議会を見守っていただきたいです。尚12月19日午後6時からスポカールイン黒石に於いて議会報告会を開催しますので沢山の方の御来場をお待ちしています。

中田 博文

議会だより編集特別委員会

- 委員長 大溝 雅昭
- 委員 中藤 和文
- 委員 工藤 博行
- 委員 佐藤 和隆
- 委員 黒石 ナナ子

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-0396
黒石市大字市ノ町11番地1号
FAX 0172-531741
電話 0172-521129